

夏休み、楽しい体験がいっぱい！ キャンプに空港見学



チャレンジワールドで、
新千歳空港を見学した子どもたち



ぼくたちわたしたち体験隊で、
バーベキューを楽しむ子どもたち

夏休み期間中、子どもたちが様々なことに挑戦する「ぼくたちわたしたち体験隊」と「チャレンジワールド」が行われました。

「ぼくたちわたしたち体験隊」に参加した小中学生11人は8月5日～7日までの3日間、上川管内比布町でキャンプ生活を体験。班ごとに食事や宿泊の役割を考え、買い出しやテント設置、カレーやバーベキューの準備などに挑戦しました。仲間と協力しながら過ごし、釣りや花火、レクリエーションなども楽しみました。

8月10日に行われた「チャレンジワールド」では、小学生25人が新千歳空港を訪れ、バックヤードを見学。グラウンドスタッフや整備士から飛行機の説明を聞きながら、普段なかなか見ることのできない空港の裏側に、目を輝かせていました。

キャンプ場と空港で夏の楽しい思い出をつくった子どもたちは、仲間と協力する楽しさや、自分で考えて行動する大切さを学んでいました。

収穫した夏野菜でパスタ作り



収穫したナスやトマトを使い、協力してパスタ作りに挑戦する参加者たち

世代間交流事業「すみっこファーム」が7月26日、妹背牛町保健センターで行われました。参加した子どもたちは、町社会福祉協議会のボランティアの皆さんと一緒に、畑で育ったナスやトマトなどを収穫。その後、新鮮な夏野菜を使ってパスタ作りに挑戦しました。

調理では、参加者同士で協力しながら野菜を切ったり、具材を炒めたりして「ナスとトマトのパスタ」を作った後、おいしそうに味わっていました。

入善町からジャンボスイカの贈り物



ジャンボサイズのスイカ割りを楽しむ園児

認定こども園妹背牛保育所に今年も、町と交流のある富山県入善町の特産品「入善ジャンボ西瓜」が届き、園児たちが夏の味覚を味わいました。

町の無形・有形文化財に指定されている獅子舞のルーツが入善町にある縁で、両町は20年以上前から地元の農産物を贈り合う交流を続けています。

ラグビーボールのようなスイカは、重さ約20kgのジャンボサイズ。目隠しをした園児たちは、力いっぱい棒を振り下ろしてスイカ割りを楽しみました。

故・渡会寿男さんに旭日単光章



滝本町長から勲記を受け取る妻の久美子さん

地方自治の発展に尽力された故・渡会寿男さんに、旭日単光章が授与され、7月21日に役場で伝達式が行われました。渡会さんは、平成27年9月から令和5年9月まで2期8年にわたり妹背牛町議会議員を務め、このうち令和元年9月から令和5年9月まで議長を務めました。伝達式には、妻の久美子さんが出席し、滝本昇司町長から勲記と勲章を受け取りました。

応援大使・山下さんと巡る妹背牛ロケ



山下さんの父・修さん（左）と出演者がバーベキューを楽しんだ撮影の1コマ

HTBのテレビ番組「LOVE HOKKAIDO」の撮影が7月に町内各地で行われ、アイドルグループ「タイトル未定」のメンバーで、妹背牛町応援大使の山下彩耶さんが、ふるさとの魅力を紹介しました。妹背牛温泉ペルやカーリングホールに続き、妹背牛ラムジンギスカンを囲んだバーベキューのシーンでは、山下さんの父・修さんが娘への想いを語る場面も撮影されました。なお、番組は8月15日に放送されました。

商工会青年部・女性部 ビーパ



現金つかみ取りで盛り上がる来場者

妹背牛商工会青年部・女性部のチャリティービールパーティーが7月24日、町民会館で開かれ、友人や職場の仲間と訪れた来場者が楽しい時間を過ごしました。会場の駐車場にはキッチンカーが並び、冷たい飲み物を手にと夕食を楽しむ家族連れの姿も。ステージでは、抽選会や現金つかみ取りが行われ、盛り上がりを見せました。なお、収益金の一部は「手をつなぐ親の会」に寄付されました。

反核平和リレー 妹背牛町でも



役場前を出発し、北竜町へ向かう妹背牛町役場の職員

平和への想いをつなぐ第38回「反核平和の火リレー」が道内各地で行われ、妹背牛町には7月28日に「平和の灯」が到着しました。戦争や核のない世界の実現を求める同リレーは、7月21日に宗谷管内幌延町をスタートし、8月9日に札幌市へゴールする日程で開催。妹背牛町では、役場職員の吉澤優作さん、野々瀬未羽さん、加藤優さんの3人が、深川市から引き継がれた火を北竜町へ届けました。

大阪・東京で「妹背牛暮らし」をPR



妹背牛町の暮らしや移住支援について紹介した移住相談会

妹背牛町は、6月に大阪府、7月に東京都で開催された「北海道移住相談会2026」に出展し、移住を検討している来場者に町の暮らしや魅力をPRしました。

相談ブースでは、町企画振興課の職員が子育て環境や移住支援制度などを紹介。町での暮らしをイメージしてもらえよう、来場者一人ひとりの相談に応じました。

また、妹背牛のブースを訪れた相談者には、町自慢のお米をプレゼントし、喜ばれました。

消防士の堀込さんが全国大会出場



全国大会に向け、「ロープブリッジ渡過」の訓練に励む堀込さん

深川地区消防組合深川消防署妹背牛支署の堀込太さんが、8月に新潟市で開催された「第54回全国消防救助技術大会」の「ロープブリッジ渡過」に出場しました。

堀込さんは、7月の全道消防救助技術訓練指導会で23秒1の好記録をマークし、全国大会への出場権を獲得。訓練に励み、技術と体力を磨いてきました。

堀込さんは「全国大会で得た経験や訓練の成果を生かし、地域住民の安全を守る活動に役立てたいです」と話しています。

お盆に合わせて郷土館を季節開館



お盆の帰省時期に合わせて季節開館した妹背牛町郷土館

妹背牛町郷土館が8月13日～16日まで、お盆の帰省時期に合わせて季節開館しました。

郷土館は、昭和6年に役場庁舎として建設され、新庁舎の落成を機に復元された歴史ある建物。館内には、かつて町で使われていた農機具や生活用品などが展示されています。

季節開館では、館内に設けられた「見所ポイント」や版画で昭和の生活ぶりを紹介している牛田克彦さんの作品展が、来館者の関心を集めました。

夏の味覚 保育所にメロン贈呈



おいしそうなメロンを手に笑顔を見せる園児ら

妹背牛町花卉蔬菜振興協議会（定講保男会長）は7月27日、認定こども園妹背牛保育所に今年もメロンをプレゼントしました。

この日は、定講会長とメロン生産者の谷川雅昭さんが保育所を訪問。「おいしく食べてくださいね」と、丹精込めて育てたメロンを園児たちに手渡ししました。

最後に、大きなメロンを抱える園児たちと記念撮影をし、園内は笑顔に包まれました。